STRIX Vol. 15, pp. 130-132, 1997

九州北西部における春のサシバの渡り

井上賢三郎

〒862 熊本市画図町重富11-4

日本における春のサシバ *Butastur indicus* の渡りは，南西諸島や四国，中国地方で1986年と1988年に観察された（日本野鳥の会編集室 1988）のをきっかけに調査がはじまった．九州東岸では南から北へ移動し（永井健介・恵子 未発表），九州の大分県南部あるいは宮崎県北部から四国にかけては，西から東へ移動するのが観察されている(井上勝巳・楠木憲一ほか 未発表)．熊本県でも球磨郡多良木町と阿蘇郡久木野村で，南から北へ移動する複数の個体と，南東から北西へ移動する複数の個体が観察された例がある（井上 未発表）．この渡り経路は北から南，あるいは東から西に移動する秋の渡り経路（志村 1988）のほぼ逆の経路となっている．しかし，熊本市では1984年に，また八代市では1989年に，北西から南東へ移動する例が観察され（井上 未発表），サシバの渡りに関する経路が，南西諸島を北上して九州南部に入る経路以外にもあるのではないかと考え，熊本県北西部におけるサシバの渡り経路について調査を行なった．

熊本県での春のサシバの渡来記録には3月下旬のものがあるが，ほとんどは4月から5月上旬までと考えられるため，1994年と1995年の4月上旬から5月上旬のあいだに，調査が可能な日をそれぞれ6日選んで調査を行なった．また，調査場所は過去に北西から南東への渡りが観察された記録がある金峰山山系とした．調査は，秋の渡り時期などでサシバが最も多く飛ぶ9時頃から14時頃を中心に行ない，定点よりサシバの個体数と渡りの方向を記録した．山頂以上の高さで飛来，あるいは上昇した個体が一定方向に2km以上（双眼鏡で追える距離）滑空したものを渡りとして記録した．

さらに補足調査として，1996年は福岡県と佐賀県の県境に位置する背振山山系と熊本県八代市の三峰山にて，同様の調査を行なった．

熊本市金峰山における1994年調査では，4月10日から5月8日まで週1回の間隔で6回の定点調査を行なった（表1）．その結果，計13羽のサシバが観察された．そして，そのうち5羽が南方へ渡った．また，それ以外にのべ4羽の定着個体が確認された．しかし残り4羽は南方向への滑空が確認されたが，すぐに降下してしまい，渡り個体か定着個体か判断できなかった．

1995年の調査では，4月1日から5月6日まで週1回の間隔で6回の定点調査を行なった．その結果，計13羽のサシバが観察された．そして，1羽が南々東へ渡ったのを確認した．ま

1997年1月10日 受理

キーワード：九州，サシバ，渡り

た，のべ3羽の定着個体が確認された．残り9羽は南方向への滑空が確認されたが，すぐに降下してしまったため，渡り個体か定着個体か判断できなかった．

福岡県と佐賀県にまたがる背振山系の4か所の調査では1996年4月13日に合計30羽の西から東へ渡るサシバが確認され，九千部山では1996年4月18日に西から東へ渡る3羽のサシバが，4月20日には西から北東ないし南東へ渡るサシバが20羽確認された．

熊本県八代市三峰山では，1996年4月21日に5羽のサシバが観察され，うち3羽が北へ渡り，ほかの2羽は定着個体だった．

以上の結果から，熊本県金峰山では，数は少ないながらも定常的に北から南への渡りがあることが確認され，また，福岡県と佐賀県の県境に位置する背振山系では，計43羽が西から東へ渡っていたので，九州北西部におけるサシバの渡りには，渡りの方向に地域的な差異があることがわかった．この事から，春に東南アジアから日本へ渡来するサシバの渡り経路は，南西諸島を北上する経路以外にもある可能性がある．今後，周辺地域での春のサシバの渡り調査が進めば，新しい渡り経路が明らかになるかもしれない．

なお，本短報をまとめるにあたり，井上勝巳氏，永井健介氏には，九州東部から四国へのサシバの春の渡りデータをいただき，長谷部和宏氏，立川孝之氏，白石健一氏にはそのお世話をいただいた．さらに，船方義輝氏，工藤栄介氏，本田和彦氏，皆吉悦夫氏には調査を手伝っていただいた．この場を借りて深く感謝を申し上げたい．

表1. 九州北西部における春のサシバの渡り状況

調査地	調査日	調査時間	天気	風向	風力	視界	渡りの方向			定着	不明
							北→南	南→北	西→東		
金峰山	1994/4/10	10:10～13:00	晴れ	北東	1～2	やや良	1	0	0	2	0
	16	10:00～12:00	晴れ	西	1～2	やや不良	1	0	0	2	0
	24	12:30～15:00	晴れ	北東	2	やや不良	0	0	0	0	0
	29	09:40～11:40	快晴	南東	1～2	やや不良	1	0	0	0	1
	5/1	09:20～12:00	快晴	北西	2	やや不良	2	0	0	0	3
	8	09:00～11:10	曇り	西	2～4	やや不良	0	0	0	0	0
	1995/4/1	09:40～14:30	晴れ	北	2～3	やや良	0	0	0	0	1
	8	09:00～15:00	快晴	南	1～2	やや不良	1	0	0	0	3
	15	10:30～13:10	曇り後晴	北東	1～2	良好	0	0	0	0	5
	22	11:45～13:30	雨後曇り	南西	2～3	良好	0	0	0	0	0
	5/2	12:00～15:00	曇り	南西	1～3	良好	0	0	0	1	0
	6	09:30～14:30	晴れ	南西	1～2	やや不良	0	0	0	2	0
背振山系	1996/4/13	08:00～08:30	晴れ	北	1～3	やや良好	0	0	20	0	0
		09:00～09:30	晴れ	北	1～3	やや良好	0	0	7	0	0
		10:20～11:20	晴れ	北	1～2	やや良好	0	0	2	0	0
		12:20～13:30	晴れ	北東	1～2	やや良好	0	0	1	0	0
	4/18	09:00～11:30	晴れ	北西	1～3	やや不良	0	0	3	0	0
	4/20	09:00～12:00	晴れ	北西	1～3	やや不良	0	0	20	0	0
三峰山	1996/4/21	15:30～17:00	晴れ	南南西	2	良好	0	3	0	2	0

引用文献

日本野鳥の会編集室. 1988. あなたの疑問に答えます Q & A. 野鳥 (506): 23-24.
志村英雄. 1988. ワシとタカの渡る道. 野鳥 (506): 14-15.

The migration of Grey-faced Buzzard-Eagles in spring in northwestern Kyushu

Kenzaburo Inouye
11-4 Shigetomi, Ezu-machi, Kumamoto-shi, Kumamoto 864

I observed the migration of Grey-faced Buzzard-Eagles *Butastur indicus* from early April to early May, in 1994 and 1995 in northwestern Kyushu. I observed a total of 53 Grey-faced Buzzard Eagles migrating eastwards during 3 days at the Sefuriyama Mountains. However, 6 Grey-faced Buzzard Eagles were observed migrating southwards during 12 days at Mt. Kinpou, which suggests that there is another migration route for Grey-faced Buzzard-Eagles in northwestern Kyushu.

Key words: Grey-faced Buzzard Eagles, migration, Kyushu